

笠岡諸島・北木島に伝わる「石切唄」を題材にした音楽ゲームが登場しました。記事を読み、質問に答えましょう。

笠岡・北木島の伝統文化PR

笠岡諸島・北木島に伝わる「石切唄」を題材にした音楽ゲームが登場した。唄のリズムに合わせてマウスをクリックしたり、画面をタップしたりして得点を重ねていく。

体験者からは「シンプルだがくせになる」と好評で、笠岡市のホームページで公開され、無料で楽しむことができる。（谷本こころ）

石切唄音楽ゲームに



石切唄の音楽ゲームの画面。リズムに合わせて画面をクリックする

石切唄は、石工たちが採石場で石を切り出し、割るときに歌っていたもので、現在は保存会が伝統文化として継承している。

ゲームを作ったのは東京都在住のプログラマー若狭正生さん(45)。島の新たな観光資源の産出などに取り組む「北木島活性化プロジェクト」の一環として制作された。

市HPで公開 リズムに合わせてタップ

公開前に笠岡市役所で開かれた体験会で、ゲームに挑戦した職員らは「簡単に見えるけど難しい」「一番上のランクを目指して何回もやりたくなる」と話していた。保存会代表で鶴田石材の鶴田康範社長は「ゲームになることで親しみが増し、北木島の石切り文化をより多くの人に知ってもらえると思う」といい、若狭さんは「年齢に関係なく誰でも楽しめる。地域の伝統を伝えるきっかけになれば」と話している。

エクスト協議会」が今年2月に開いた島の観光振興につなげるアプリやサービスを開発するイベントでの提案が実現した。

長さは1分ほど。クリックなどのタイミングが合うと「ベスト」「グッド」と表示され、点が加算され、合計点に応じて「石切見習い」から「石切の神」までの五つの称号が与えられる。パソコンやスマートフォン、タブレット端末などでプレイすることができる。

1日付山陽新聞、笠岡・井原・浅口圏版

Q1 笠岡諸島・北木島に伝わる「石切唄」はもともと、どのようなときに歌っていたものでしょうか。第2段落に注目です。

Q2 この音楽ゲームを遊んでもらうことで、唄の保存会や制作者はどのようなことを期待していますか。最後の段落のかぎかこの言葉を基に考えましょう。

Q3 皆さんの住む地域や学校には、音楽ゲームにしたら楽しそうと思う曲がありますか。理由とともに考えてみましょう。

過去の問題は
 こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。